

ゆえ、その年の作毛あしきゆえ、実もすくなく  
 百姓たおれ候、田うえ時ばかりに限らず、畑作  
 にもそれぞれの植付蒔どきの旬のび候えば、  
 つくりもあしく候、名主・組頭此考を仕り、独身  
 百姓右申すごとく役にさされ候時は、下人とも持  
 よき百姓にさしかえ、独身の百姓を介抱  
 申すべき事

★旬（しゅん…物事を行うのに適した時期）

介抱（かいほう…世話をする、保護する）

一夫婦かけむかいの百姓にて身上もならず、郷中  
 友百姓に日頃いやしめられ候ても、身上持あげ  
 米金をたくさんに持ち候えば、名主・おとな百姓を  
 はじめ、言葉にてもよくあいしらい、末座に  
 居候ものをも上座へなおし、馳走仕るもの  
 にて、又前かど身上よき百姓もふべん仕れば、親子・  
 しんるい・名主・組頭までも言葉をかけず、

★おとな百姓（長百姓…年寄とも、村内の有力な百姓）

あいしらい（あしらい…扱う、対応する、もてなす）

末座（まつざ…末席、しも座）

馳走（ちそう…饗応すること、もてなし、振る舞い）